辰野町行政評価システム

事務事業評価シート（平成23年度実績分）

（1） 事務事業の名称・位置づけ 〔Plan1〕

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長（課長等）名	担当者係長名
61221	協働のまちづくり支援事業	まちづくり政策課	まちづくり係	一ノ瀬元広	一ノ瀬敏樹
		一次評価年月日	平成 24 年 6 月 15 日	連絡先〔内線〕	2225

事務事業実施の根拠・位置づけ		会計区分		予算コード	事業名（歳出予算見積書）
予算における位置づけ（会計区分・事業コード・事業名）		☒ 一般	☐ 特別	0207	企画事務
		☐ 一般	☐ 特別		#N/A
第五次総合計画前期基本計画 の施策体系における位置づけ	章	（コード選択）		6章	参加と交流のまちづくり
	節	（コード選択）		1節	協働のまちづくりの推進
	項〔基本施策〕	（コード選択）		2項	地域コミュニティの活性化
	目〔主な施策〕	（コード選択）		2目	地域活動への支援
関連する計画等への位置づけ		☒ 第五次行財政改革大綱	☐ 3ヶ年実施計画	☐ 主要業務報告	☐ その他
事務期間		（開始） 16 年度 ～	（終了予定）	年度	☐ 開始時期不明 ☒ 終期設定なし

（2） 事務事業の内容（目的と手段を把握します。）〔Plan2〕

①対象（**～に対して**）・・・・・・この事務事業はどんな人（誰・何）を対象に行っていますか。

町民により構成された地域活動を行う団体（隣組・町内会・区などの地域組織・企業・住民グループ・ボランティア・NPO等）であり、町内において公共的活動又は地域の活性化に資する活動を営む団体

②目的（意図）（**～という状態にするために**）・・・・・・この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

民間・地域からの発意と発想を生かし地域の為になる公共的活動を積極的に展開させ、町・地域の活性化を図る。

③手段（事業内容）（**～を行う**）・・・・・・上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的（意図）を達成するか、事業の実施内容（サービスの概要）を記入します。

1	地域団体が行う活性化に繋がる事業に対し補助をする。
2	各事業の公共性を高めるため、申請団体と重点的にヒアリングを行う。
3	事業を計画している新規申請団体等の相談を受け、必要に応じて申請から実施までのアドバイスを行う。
4	

（3） 活動指標の設定と推移・・・・・・（2）の③サービスの概要（手段）の指標を表します。〔Do1〕

区分			単位	実績値 22年度	実績値 23年度	計画値 27年度（見込み）	計画値 達成率	最終目標年度 27	最終目標年度 年度（見込み）
①	指標名	事業採択団体数	団体	15	16	18	0.89	18	
	説明	事業を新規におこし活性化の為の事業を行った団体	目標値設定の根拠	支援金事業の周知・定着を図り、地域住民のまちづくりへの参画意識を向上させ、多くの団体に実施してもらう。					
②	指標名						#DIV/0!	0	
	説明		目標値設定の根拠						

（4） 成果指標の設定と推移・・・・・・（2）の②目標（意図）の達成度を指標で表します。〔Do2〕

区分			単位	実績値 22年度	実績値 23年度	計画値 27年度（見込み）	計画値 達成率	最終目標年度 27	最終目標年度 年度（見込み）
①	指標名	事業予算額に対して採択した補助金の割合	%	65	93	95	0.98	95	
	説明	事業の目的、効果をヒアリングによりしっかり把握し、各団体に公共性の高い事業実施をはたらきかけ、また予算の有効活用を図る	目標値設定の根拠	より多くの団体が支援金を有効に活用し、事業を実施することで、地域の活性化が図れる。					
②	指標名						#DIV/0!	0	
	説明		目標値設定の根拠						

指標化

（5） 総事業費（コスト）の推移 〔Do3〕

※事業費の算定方法 ☒ 決算書・予算書等に記載の数字 ☐ 按分計算による算定

		平成22年度 決算	平成23年度 決算	平成24年度 見込み
○総事業費（コスト概算） ＝①＋②	（千円）	6,007	6,714	6,691
対前年比	%		111.8	99.7
A）その他の財源（国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など）		1,979	2,974	3,000
B）一般財源（税金）		4,028	3,740	3,691
①事業費	（千円）	1,979	2,974	3,000
対前年比	%		150.3	100.9
②人件費の概算	（千円）	4,028	3,740	3,691
対前年比	%		92.9	98.7

	課長 H22	課長 H23	課長 H24	課長補佐 H22	課長補佐 H23	課長補佐 H24	係長 H22	係長 H23	係長 H24	一般職員 H22	一般職員 H23	一般職員 H24	延べ人数 H22	延べ人数 H23	延べ人数 H24	年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員（正規職員）	0.01	0.01	0.01	0.14	0.14	0.14	0.00	0.00	0.00	0.41	0.41	0.41	0.57	0.56	0.57	4,028	3,740	3,691
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。（人件費計算式）シート									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0

（6） 項目別評価 〔Check〕

視点	項目別評価	判定	評価結果	
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している	
	2. 町（行政）が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となるとなる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する	
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である B 対象の変更の余地がある →	Bの場合その具体的な内容をお書きください
	4. 目的（意図）の設定は妥当ですか	A	A 目的（意図）は明確で上位の施策に合致している B 目的（意図）は上位の施策に合致していない点がある →	Bの場合その具体的な内容をお書きください
有効性	5. 期待された成果は得られましたか（成果指標の目標値への達成度）	B	A 期待したとおりの成果があった B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
	6. 連携可能な事務事業はありますか（町以外の取り組みも含めて）	C	A すでに実施している B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない	A・Bの場合その具体的な内容をお書きください
効率性	7. 成果を下げずにコスト（事業費・人件費）を削減できますか	A	A 余地なし B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →	C・Dの場合その具体的な内容をお書きください
その他	9. 現在の事業内容（サービス）に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している B 日常業務の中で把握している C 把握していない →	A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください 申請団体や申請を検討している団体に対して相談に乗ったり、ヒアリングの際に把握している。

（7） 改革改善 〔Action〕

今後の方向性（上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。） 口を一つチェックしてください。

☒ ア. 現状のまま継続する　☐ イ. 見直しのうえで継続する　☐ ウ. 終期設定　☐ エ. 廃止　☐ オ. 休止

〈今後の展開方針〉（イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください）

- ☐ a 重点化する（コストを集中的に投入する等）
- ☐ b やり方を改善する（実施主体や実施の手段を変える）
- ☐ c 効率化を図る（コストを下げる）
- ☐ d 縮小する（簡素化する）
- ☐ e その他（別事務事業に統合する等）

（ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください）

時期（年度）	

事業改善の経過

（前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。）
補助金の限度額を10万円から50万円に上げた。（平成18年度から）

事業の方向性の具体化

（誰が、何を、いつまでに、どうするか（5W1H）等の改革改善案を記入します。）	24年度予算見積書への反映 ☒ あり ☐ なし
ホームページ、広報たつの、ほたるねっと、新聞紙上をつかって、住民に対して支援金事業を積極的にPRし、より多くの団体に支援金を活用していただく。	〔反映内容〕 補助金

（8） 所属長 所見 （事務事業の総合評価及び今後の方向性について）

（評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。）	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
・協働のまちづくり推進に向けては重要な事業であるので、積極的に支援していきます。 ・事業採択に対する詳細な規則を策定します。	☒ A. 貢献度 大　☐ D. 上位施策なし ☐ B. 貢献度 中 ☐ C. 貢献度 小

（今後の方向性 口を一つチェックしてください。）

☒ ア. 現状維持　☐ イ. 見直しのうえで継続する　☐ ウ. 終期設定　☐ エ. 廃止　☐ オ. 休止

→ ☐ 上記 a～e を選択